

# 一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月11日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	西銘 純恵(日本共産党)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 辺野古新基地建設問題について

- (1) 安倍政権は、県民投票で71.7%が辺野古新基地建設に反対した民意を無視して、埋め立てを強行している。与党訪米団に対し、連邦議員などは、民意が無視されて辺野古新基地建設が強行されていることに驚きと関心を示した。訪米されたデニー知事の所感と今後の課題を伺う。
- (2) 県民の抗議行動によって工事はほとんど進まず、90メートルの軟弱地盤や活断層などが今後の埋め立てを不可能にするように立ちはだかっている。市民団体の防衛省交渉でも埋立土砂の量が明らかにされたが、計画量とこれまでどれだけ投入され、割合は何%になるのか。
- (3) 地球温暖化による気候変動の危機が叫ばれている中、米国NGO団体によって辺野古大浦湾が日本で唯一の「ホープスポット」に指定された。世界の国や議会に埋め立てられようとしている生物多様性の浦湾の海を知らせる手紙を送付したらどうか。

### 2 子供の貧困対策及び今後の拡充策について

- (1) 政府が大綱を見直した。沖縄県が行った公共料金の滞納など生活の実態が把握できる調査内容が、大綱見直しに影響を与えたと思うが、見解を問う。
- (2) 貧困解消に向けて市町村の取り組みが重要となるが、計画策定した市町村はどこか、策定に向けた今後の取り組みを伺う。
- (3) 次年度の取り組みを伺う。

### 3 深刻な児童虐待を根絶するための条例制定について、9月の委員会において、条例は子供の福祉、人権や権利保障の立場で策定することを提案したが、知事の見解を問う。

### 4 教育行政について

- (1) 学校の歯科検診における虫歯で要治療の子供たちの治療状況を問う。医療費を中学卒業まで窓口無料にした南風原町は、ほかの自治体と比べて治療実績が向上したようだが、実態と教育長の見解を問う。
- (2) 公立夜間中学の創設に向けた取り組み状況を伺う。
- (3) 教師の多忙化解消のために配置した小・中・県立学校の部活指導員の状況と今後の配置計画について
- (4) スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置状況と次年度以降の拡充計画について
- (5) 高校生のバス通学費無料化に向けて行った調査結果を問う。次年度から非課税世帯からでも実施すべきと考えるが、試算額と取り組みを伺う。
- (6) 政府が導入しようとしている「1年単位の変形労働時間制」は、公立学校教員給与特別措置法3条の「時間外勤務手当、休日勤務手当を支給しない」という規定はそのまま、今でも深刻な長時間労働を助長するものにほかならない。少人数学級の実現こそ待ったなしの課題ではないか。法案に対する教育長の見解を問う。
- (7) 県が調査した県立学校職員の長時間労働の実態と認識を伺う。長時間勤務者の人数と健康障害防止のための面接指導を受けた人数を伺う。多忙なままみずから過労死を予防するための面接を受けることができていない状況は深刻ではないか。改善策を伺う。

- 5 学童クラブに入所できない待機児童の実態と解決策を伺う。また、民設民営の多い沖縄県の学童クラブの支援員の賃金を引き上げて待遇を改善することについて
- 6 特別養護老人ホームの増設の実績を問う。待機者は減っているか。最も待機者の多い施設は何人か、最も長くて何年待機しているか。増設を急ぐことについて
- 7 保育園などの危険箇所の安全対策について  
ことし5月、滋賀県大津市で集団で歩道を通行中の園児たちが死傷する交通事故が起きた。続発する事故を受けて、6月18日、国土交通省から「未就学児が集団で移動する経路の交通安全の確保の徹底」について都道府県の担当宛てに通知が出された。緊急安全点検を求められた市町村の点検結果を伺う。交通安全対策の予算措置にかかわる安全点検の通知を市から受けていないという保育園があるが、市町村に対し、いま一度点検を徹底させて集約を図る必要があるが、対応を伺う。
- 8 嘉手納米軍基地からの取水による北谷浄水場の汚染問題について  
北谷浄水場の水が、使用禁止されている有害物質のPFOS、PFOAに汚染されているが、他の水源を持つ浄水場はゼロに近い数値である。北谷浄水場は嘉手納基地の汚染源を元から断たなければ安全な水にはならない。発がん性の疑い、胎児や乳児への影響、健康への害悪は将来の世代にも取り返しのつかない重大問題である。
  - (1) 嘉手納基地への立入調査はどうなっているか。県が立入要求をしたのはいつか。その後の政府の取り組みを問う。
  - (2) 北谷浄水場の取水源で汚染の可能性のある場所を取水停止すること。
  - (3) 汚染水の除去は一刻も猶予はできない。汚染除去されるまで、安全な北部ダム系統の石川浄水場や西原浄水場に切りかえたり、とれる手だてを最大限尽くすことについて
  - (4) 知事は、国の基準値設定においては、米国で最も厳しい基準を持つ州や限りなくゼロに近い基準を日本の基準値にすることを求めたいとしたが、政府への対応を伺う。
- 9 伊平屋空港建設について、伊平屋・伊是名村の住民調査で、空港がないため本島に出て仕方なく宿泊する割合はどうなっているか。空港建設の進捗状況と課題について
- 10 普天間基地の即時運用停止、閉鎖・返還について  
普天間基地の10月の離着陸回数はいくらで前年同月に比べてどうか。負担軽減と真逆の負担激増の危険な普天間基地は一刻も早く運用停止し、閉鎖・返還するほかない。知事の見解を問う。住宅地上空を飛行する実態を撮影して米国政府や議会、国連に送付してはどうか。
- 11 浦添新軍港は国内法の及ばない治外法権の米軍専用施設となり、3000人の海兵隊や米軍機100機以上が乗り込んだ強襲揚陸艦、原子力潜水艦が入港可能な新基地となる。まさに那覇港湾発展の障害物である。1974年に全面返還で日米合意された那覇軍港が今日まで返還されていないのは、移設条件がついたからにはほかならない。県が無条件返還を要求してこそ返還を現実のものにできるのではないか。
- 12 我が党の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月11日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	次呂久 成崇(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県内18離島市町村の特産品を一堂に集めた離島フェアがことしも開催されたが、成果と評価について伺う。</p> <p>(2) 知事は公約に離島力の向上を掲げているが、知事の考える沖縄の離島の魅力とは何か伺う。また、知事の考える総合的な離島振興策とは何か伺う。</p> <p>(3) 県内の離島地域は島々で異なる個性豊かな自然や文化を初め、地域課題も山積している。地域の住民が望まない開発やオーバーツーリズムによりその地域や島々に住んでいる住人の日常生活や文化、自然が守られないといった地域課題に対し、知事は積極的に離島に足を運び、直接住民と課題について向き合うべきだと思いが見解を伺う。</p> <p>2 環境行政について</p> <p>(1) 世界自然遺産登録に向け、国連教育科学文化機関(ユネスコ)に登録の可否を勧告する国際自然保護連合(IUCN)の調査員による現地視察が10月5日から8日間にわたり実施された。調査官と地域住民との意見交換会があったようだが、どのような意見交換が行われたのか伺う。</p> <p>(2) 世界自然遺産登録に向けて各自治体では自然案内人条例が検討されているようだが、海外や国内の自然環境に関心の高い地域では自然案内人(ガイド)のライセンス制を実施しているところもある。沖縄の貴重な自然環境・生物多様性を保全していくためには、各自治体任せではなく、県が積極的にライセンス制に向けた取り組みをするべきだと思いが見解を伺う。</p> <p>(3) 県が実施した海岸漂着物調査によると、県全体の海岸漂着ごみの半分が八重山諸島に漂着していることがわかったということだが詳細と今後の対策について伺う。</p> <p>3 観光行政について</p> <p>(1) 2018年度の入域観光客数が修正されたことについて、原因と報告、チェック体制及び今後の対策について伺う。</p> <p>(2) 拡大を続ける沖縄観光だが、県内離島の観光地ではオーバーツーリズムが問題となっている。離島観光の課題について、県の見解を伺う。</p> <p>4 離島振興について</p> <p>(1) 平成29年度から実施している沖縄県離島患者等支援事業のこれまでの取り組みと執行率、課題について伺う。</p> <p>(2) 運休中の離島航空路線の再開に向けた取り組み状況について伺う。</p> <p>(3) 波照間島空港と多良間島空港では、夜間の急患搬送で空港照明が使用されず急患搬送に支障を来しているとのことだが、夜間の空港を利用した急患搬送体制及び空港管理について伺う。</p> <p>5 宮古島市・石垣市の県職員(教職員・病院事業局含む)の住環境について</p> <p>(1) 沖縄県職員住宅平得団地の大規模改修工事について、工期は平成31年度から2カ年となっているがまだ着工していない。経緯と進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 病院事業局では、宮古・八重山地域に赴任する職員の住宅を確保するため民間賃貸住宅を借り上げ、職員住宅の確保を図っているとのことだが、現在の借り上げ状況について</p>			

伺う。

- (3) 知事部局では以前に今後も行政需要に伴い、職員の継続的な確保が想定されることから一定戸数の職員住宅の確保は必要と考えていると答弁している。一定戸数とはどれだけか、また病院事業局のように民間賃貸住宅を借り上げて職員住宅を確保するという考えはないのか伺う。
- (4) 宮古・石垣では県職員住宅と民間賃貸住宅では負担する家賃差額が大きく均衡ではない。住宅事情が厳しい状況を踏まえ、地域特別手当等を支給するなど職員の経済的・精神的な負担に配慮した関係機関との調整・対策を検討するべきだと思いが県の見解を伺う。

#### 6 新県立八重山病院について

- (1) 県立八重山附属病院西表西部診療所の常勤医の急病に伴い不在となり、診療体制見直しとなった経緯と今後の診療体制、常勤医師確保の取り組みについて伺う。
- (2) 内科の医師不足のため12月から診療扱いを変更することになったようだが詳細について伺う。
- (3) 現在、県内は観光客も増加しており、診療所の医師は土日・祝日や夜間・時間外の診察もふえ、医師の負担となっている。医師確保のために医師の過重労働軽減・医療体制・働く環境整備をしなければ安定的な確保は図れないと思いが県の見解を伺う。
- (4) 石垣市役所新庁舎建設工事に伴い、現在使用している急患搬送のヘリポートが使用できなくなることに對し、竹富町や離島住民を初め、民間団体や議会も反対し、現ヘリポートの継続使用や八重山病院隣接地でのヘリポート設置を求めている件について県の見解を伺う。

#### 7 土木行政について

- (1) 石垣空港線の進捗状況について伺う。
- (2) 石垣空港線は当初計画では2019年度末完成予定であったが、3年引き延ばして2022年度末に計画変更している。資材や人件費の高騰により当初予定の総事業費よりどれぐらい膨れ上がっているのか、今後の予算確保と用地取得の見通し・課題等について伺う。

#### 8 福祉行政について

- (1) 保育の受け皿拡大と質の向上には保育士の確保が大前提であり、保育士確保のための処遇改善と潜在保育士の復職サポートの取り組みについて伺う。
- (2) 保育士の処遇向上と定着促進を図るには、保育士の正規雇用率の上昇を図る取り組みが必要である。平成27年度から実施している保育士正規雇用化促進事業の実績と効果について伺う。また全国と県内の正規雇用率について伺う。

#### 9 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月11日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	赤嶺 昇(おきなわ)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 琉球歴史文化の日制定について伺う。</li><li>(2) 世界のウチナーンチュ会館について伺う。</li><li>(3) 首里城火災について伺う。</li><li>(4) フィリピン、サイパン、テニアンとの姉妹都市締結について伺う。</li><li>(5) 海外沖縄事務所の課題を伺う。</li><li>(6) 座間味浄水場について伺う。</li><li>(7) 叙勲申請漏れについて伺う。</li><li>(8) 入城観光客数発表ミスについて伺う。</li><li>(9) 那覇軍港の浦添移設について伺う。</li></ul> <p>2 米軍基地関連について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 玉城知事就任後の辺野古新基地建設の進捗状況を伺う。何%進捗していますか。</li><li>(2) 玉城知事就任後の辺野古新基地阻止の実績を伺う。</li><li>(3) 県民投票の結果をどのように生かしているかを伺う。</li></ul> <p>3 那覇空港について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 那覇空港第2滑走路について伺う。</li><li>(2) 那覇空港の課題を伺う。</li></ul> <p>4 教育・福祉・医療・保健行政について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 高校定員内不合格について伺う。</li><li>(2) 定員内不合格が出る理由と根拠を伺う。</li><li>(3) 高校中退の現状を伺う。</li><li>(4) 中学校の不登校の現状を伺う。</li><li>(5) 中学校で不登校だった生徒の中学校卒業後の進路を伺う。</li><li>(6) 中卒者の進路未決定者数を伺う。</li><li>(7) 中学校浪人者数を伺う。</li><li>(8) 重度知的障害者の普通高校への入学について伺う。</li><li>(9) 幼児教育・保育無償化に伴う課題を伺う。</li></ul> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

# 一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月11日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	比嘉 京子(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等

## 質問要旨

### 1 文化芸術政策について

- (1) 沖縄県文化芸術振興条例の目的について
- (2) 文化芸術を振興するための施策の策定、推進はどのようになされているか。
- (3) 全国に先駆けて導入されたアーツカウンシル機能の内容と成果について伺う。
- (4) 本県の文化芸術振興施策の主要事業は一括交付金による事業である。文化振興の継続的な推進のために「沖縄文化基金」の設立を検討してはどうか。

### 2 幼児教育・保育の無償化について

前議会で私は、公立・私立幼稚園、認定こども園、公立・私立保育所の所管省庁の違い、根拠法の違いについて質疑しました。所管省庁の違い、根拠法の違いがある中で、これらのどの施設にいても3～5歳児の幼児教育・保育を無償化する制度が10月からスタートしました。その結果多くの問題点、矛盾が起こっています。以下質問します。

- (1) 公立・私立幼稚園、認定こども園の給食の位置づけはどうか。また、設置基準において調理室はどのように定められているか。
- (2) 公立保育所、私立(認可)保育所の給食の位置づけはどうか。また、設置基準において調理室はどのように定められているか。
- (3) 私立(認可)保育所は、市町村から保育事務を委託されているので委託費と考えるがどうか。同様に公立保育所の場合もどうか。
- (4) 私立(認可)保育所の根拠法を問う。また、委託費に給食は含まれると考えるがどうか。同様に公立保育所の場合もどうか。
- (5) 保育所保育指針には、保育の一環として給食・食育が位置づけられている。認識を伺う。
- (6) ことしの9月までと10月以降において、公立・私立(認可)保育所の根拠法及び保育所保育指針は改定されていないと認識するがどうか。また、これまで保育料に含まれていた副食費の金額設定さえ明らかにされていないが、ここに来て突然副食費を切り離し徴収せよということは理論的にありえない。説明を求める。
- (7) 保育所における食材料費の徴収について
  - ア 公立・私立(認可)ともに保育実施責任は市町村にあるが、公立保育所は市町村が徴収し、私立(認可)保育所は保育所が徴収している。その違いの根拠について説明を求める。
  - イ 公立・私立(認可)ともに保育の実施義務は市町村にあり、さらに保育実施契約は市町村と保護者間で成り立っている。市町村が徴収すべきと考えるがどうか。
  - ウ 公立・私立(認可)において、食材料費の滞納が生じた場合の責任の所在はどこにあるか。

### 3 公立幼稚園、認定こども園について

- (1) 本県の3歳児総数は何名か。また、保育園、幼稚園に入園している人数は何名か。県内の3歳児の潜在的待機児童は何名か。
- (2) 公立幼稚園の3歳児クラスの設置状況と、公立幼稚園から幼保連携型認定こども園へ移行した園の3歳児クラスはどれだけ増加したか。

- (3) 1号認定の3歳児の受け皿はどうなっているか。また、満3歳になった時点で入園できると理解してよいか。
  - (4) 公立幼稚園の預かり保育の実施状況はどうなっているか。実施しない場合の理由を問う。また、県は預かり保育推進に向けてどのような取り組みをしているか。
- 4 沖縄県幼児教育センターについて
- (1) 9月議会において、沖縄県幼児教育センターを令和2年4月に設置予定であるとの答弁があった。その後の具体的な進捗状況を伺う(組織体制等)。
  - (2) 文部科学省が示す幼児教育センターには、幼児教育アドバイザーを配置することが要件となっているが、どのような人材を何人配置するのか。また、その役割について伺う。
- 5 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月11日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	渡久地 修(日本共産党)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 首里城の復旧・復興について

- (1) 今大事なのは、悲しみを共有し、県民の力で復旧・復元するという決意で、県民の心をつにつにすることだと思う。それが知事の一番の大きな役割と思うが見解を伺う。
- (2) 復旧・復元への体制、組織のあり方も、県民の力で、県民と県が主体となり、全県民、全世代の代表を網羅したものにし、国はそれを全面的に支援するというあり方にすべきではないか。
- (3) 復旧・復元の資金も、県民、国民、世界中の人々に依拠して支援と寄附を呼びかけ、集まった寄附金は正殿などの復旧に充て、私たちの力でよみがえらせたのだと、次世代の県民が誇れるようにすべきである。
- (4) 現在、法的な所有権という意味では国のものとなっているが、首里城は県民のものである。将来的には県に移管すべきである。そのためには、段階的な移管も含めて議論すべきではないか。
- (5) 本員はこれまで旧日本軍32軍壕の保存と部分公開を何度も提起してきた。首里城火災を受けて、公開の要望も高まっているが、埋まっている第1坑口を復元すべきである。また、第3坑口、第5坑口の入り口の公開は可能である。検討すべきではないか。

### 2 訪米要請行動と今後の取り組みについて

- (1) 米国政府、議会、米国民及び日本全国に正しい情報を知らせる重要性と取り組みについて以下伺う。
  - ア 沖縄県民は県民投票で71.7%の圧倒的な辺野古埋立反対の民意を示したという事実を知らせること。民主主義国家であれば尊重するのは当然ではないかということ。
  - イ 軟弱地盤の存在が明らかになり工事は事実上不可能ではないかということ。
  - ウ 仮に建設を強行するにしても、既に建設予算が膨大に膨れ上がっており、今後さらに膨れ上がる。工期もいつまでかかるかわからないこと。引き渡されたとしても、地盤沈下などで日本国民の税金と米国民の多額の予算が投入されるおそれがあること。
  - エ 米国の環境NGOミッションブルーが世界のホープスポット100に辺野古大浦湾の海を選定したことに見られるように、辺野古新基地建設は環境破壊の最たるものであること。
  - オ 普天間基地周辺の小学校・保育園で日常的に子供たちの頭上を飛び交い危険にさらされていることを映像なども使って知らせること。
- (2) 今回の訪米で沖縄を支援する団体や個人は着実にアメリカでも広がっていることを実感したが、今後、沖縄を支援する団体、個人などの日常的なネットワークの構築が必要だと感じた。見解を伺う。

### 3 来年の戦後75周年に沖縄から平和を発信することについて

- (1) 広島、長崎市長を慰霊の日に招待し、知事も広島、長崎の平和記念式典に参加し、平和を共に発信すべきと前議会で提案した。知事も前向きな答弁を行ったが、実現に向けた取り組みを問う。また、国連事務総長、事務次長などを慰霊の日の式典に招待することについて
- (2) 1945年沖縄戦のさなかの4月27日、真地にある県庁壕で最後の市町村首長会議が開催されたという。悲惨な沖縄戦の実相を伝えるとともに、追体験のために知事の視察と、来



年、県庁壕での臨時庁議を開催し平和の思いを発信してはどうか。

- (3) 戦後75周年の節目の年に、シンポジウムなど平和を願うさまざまな取り組みを行うべきではないか。
- 4 沖縄戦の最初の米軍上陸地、集団強制死の史実を後世に伝えるために、県立平和祈念資料館の座間味分館を設置してほしいとの要請が座間味村から長年にわたって出されている。戦後75年目の節目の年にぜひ実現させるべきではないか。
- 5 モノレールについて
  - (1) 延伸と観光客の増加に伴い、モノレールは大型バッグを持った観光客で混雑し、乗れない場合もあるが現状をどのように認識し、どのような対策をとっているか。
  - (2) 緊急措置として、モノレール那覇空港駅のエレベーター増設、エスカレーター増設及び大型化は急務である。
  - (3) モノレールの3両化を前倒し実現すべきではないか。
- 6 子供の通院医療費の中学までの無料化について、知事は任期中に実現させたいと前定例会で答弁したが、具体化について問う。
- 7 OISTについて
  - (1) OISTの現状と今後の課題について
  - (2) ワシントンでOIST財団が設立されたが目的は何か。
  - (3) 大学で防衛省の補助を受けての軍事研究が全国で問題になっている。OISTが軍事研究を行うことはあってはならないと思うが見解を問う。
- 8 我が党の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月11日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	仲宗根 悟(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 首里城復興に向けての取り組みを伺う。</p> <p>(2) 首里城を主とした観光関連や多くの事業者の事業展開にさまざまな影響が出ていると聞くが、その支援対策等、取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 知事の訪米活動について伺う。</p> <p>2 道路整備について</p> <p>(1) 西海岸道路の概要及び進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 沖縄読谷線はしご道路の構想位置づけについて伺う。</p> <p>3 農業振興について</p> <p>(1) 今期の農業生産高の予想はどうか。</p> <p>(2) 県下に蔓延の兆しのあるカンショの病気、基腐病の被害状況と対策、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>4 読谷村瀬名波通信施設跡の農業基盤整備導入について伺う。</p> <p>(1) 現時点で瀬名波通信施設跡の農業基盤整備及び住宅用地の計画内容はどうか。</p> <p>(2) 事業採択の見込みはどうか。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			